

(1)所管事業の評価

総合評価の割合	 期待を上回る 0.0%	 概ね順調 100.0%	 限定的効果 0.0%	 成果不十分 0.0%
---------	--	--	---	---

(2)所管事業のコスト(単位:千円)

	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	R8見込	⇒ R4～R7 合計	⇒ 事業費に占める 一般財源の比率
事業費 総額	26,188	27,873	22,104	24,994	24,994	101,159	98.1%
市の実質負担額 総額	25,536	27,832	22,063	23,767	17,867	99,198	

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	21040	事業名	広報あさひ・情報誌の発行		事業コード	1900	担当課	秘書広報課
事業概要	●広報あさひを毎月1回（1日）発行し、市政に関するお知らせやイベント情報、まちの話題などを市民に提供する事務。 ●旭市くらしの便利帳を3年に1回発行し、行政情報や市民生活に役立つ情報を提供する。（最新版は令和6年度に官民連携事業で作成）。							
経緯等	【広報紙】市政情報などを市民に周知するために開始、毎月1回発行。 【くらしの便利帳】市民に配布し、市民生活に役立つ行政情報などを提供する。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	・「見せる紙面」へのデザイン転換。 ・官民連携による「くらしの便利帳」の定期発行。 ・市公式SNSとの連携。 ・アンケート調査の実施（LoGoフォーム）。 ・紙面に記事詳細が載ったwebページにアクセスできる二次元コードを掲載。		・広報あさひ（月1回）、旭市くらしの便利帳（3年に1回）。 ・特集や写真、図解の掲載数。 ・アンケート回答内容の集計レポート。			・「見せる紙面」により読後の満足度が向上し、市政に対する親近感やコミュニティへの帰属意識が醸成される。 ・市民の行政に対する信頼や参画意識が醸成される。 ・市公式SNSとの連携により、若年層への広報紙周知拡大が図られる。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	広報あさひのアンケート実施回数	1	1	1	0	1（通年）	1（通年）
	活動指標イ	広報紙の特集等に関連したSNS投稿数	—	—	—	—	5	6
	成果指標ア	広報紙に関するアンケート調査結果（満足度％）	89	88	—	0	80	80
	成果指標イ	広報紙に関するアンケート調査結果（閲読率％）	69	52	47	0	70	80
費用（千円）	一般財源・基金等市の実質負担額		22,332	24,804	19,035	19,148	15,148	
	その他(補助金・地方債等)		36	41	41	1,227	41	
	歳出額(総額)		22,368	24,845	19,076	20,375	15,189	
課題等	インターネットやスマートフォンなどの普及により、新聞購読者が減少している。 読者のニーズに合わせて、全国的に自治体広報の構成が、読ませる紙面から見せる紙面に変わってきた。							
令和8年度	・見せる広報紙を作成するため、市民の声を紙面へ反映させ、目を引く内容の特集記事を作成するなど、広い世代に読んでもらえる紙面づくりを継続する。 ・アンケート調査を実施し、広報紙に対する市民の意見や要望を把握する。 ・市公式SNSと連携し、若年層への情報発信の強化と周知拡大を図る。 ・「くらしの便利帳」についても、写真を多く掲載し、目を引く構成にするとともに、読みやすく分かりやすい刊行物を作成する。							

				重点P	-	総合評価	概ね順調	
No.	21050	事業名	市長への手紙制度		事業コード	1900	担当課	秘書広報課
事業概要	●市民から市政に関する意見や要望等を聴き、これからのまちづくりに役立てていく制度。手紙・メール・ファクスなど様々な方法で届いた「市長への手紙」に対して、市長決裁のうえ、適正かつ迅速に回答を行う。 ●手紙の内容や回答をその内容ごと（政策提案・要望・苦情・その他）にデータベース化し、庁内で情報共有するほか、ホームページ上で概要を公表する。							
経緯等	市民から市政に関する意見や要望等を広く聴き、庁内で情報共有することで、市民のニーズの把握と迅速な対応に努め、市と市民による市政運営とまちづくりを推進する。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	・意見等の受付、回答、情報共有。 ・制度の親しみやすさに向けた検討。 ・データベースへの蓄積およびホームページでの公開。		・受付件数および回答完了数。 ・ホームページ上で公開された回答要旨の数。			・市民の意見等を反映した市政運営やまちづくりが推進される。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	市長への手紙制度の周知回数	1	1	1	1	3	5
	活動指標イ		0	0	0	0	0	0
	成果指標ア	市長への手紙受付件数（回答不要含）	40	38	51	73	80	100
	成果指標イ		0	0	0	0	0	0
費用（千円）	一般財源・基金等市の実質負担額		0	0	0	0	0	
	その他(補助金・地方債等)		0	0	0	0	0	
	歳出額(総額)		0	0	0	0	0	
課題等	・手紙の内容が市民全体に関わる内容から個人的要望まで幅広いため、「市長への手紙」としての取り扱いの判断に迷うことがある。 ・「市長への手紙」は名称や周知方法等の影響も考えられ、若年層（小・中学生含）の利用が少ない。 ・同じ市民が一度回答した案件について繰り返し手紙を送付してきたときの対応や、関係する部署等が多岐にわたる場合の回答の調整に、時間を要する場合がある。							
令和8年度	市民の声を広く聴き、まちづくりに生かしていくための取り組みの一つとして、引き続き継続していくが、世代問わず利用いただけるよう、制度運用の工夫に取り組んでいく。							

				重点P	3	総合評価	概ね順調	
No.	21060	事業名	旭の魅力発信事業		事業コード	1900	担当課	秘書広報課
事業概要	【ホームページ、SNS、デジタルサイネージなどを活用した情報発信】 ・コンテンツマネジメントシステム（以下CMSという）により、担当課などが発信したい情報のアクセシビリティチェックと承認 ・CMSによる各ページの作成・編集・削除などの操作支援 ・社会情勢や市民ニーズの変化に対応した広報活動を行うため、各種SNSを活用した情報発信							
経緯等	各種支援情報や災害など、急を要する情報などの市政情報をタイムリーに発信する。 地域に密着した情報や、観光イベント情報、市内の景観などを、市民や旭市に関わりのある人、旭市を知らない人などに向けて発信し、旭市の知名度向上を図る。							
ロジックモデル	活動・実施内容		産出(アウトプット)			成果(アウトカム)		
	・市公式SNSを活用しながら、情報発信の充実及び発信内容の多様化を検討する。 ・庁内へのCMS操作研修などを実施し、市全体の情報発信の質と頻度を向上させる。		・各媒体への掲載記事・投稿数。			・広報あさひを手にとらない層へ情報が届くようになる。 ・市外の方の検索、SNS流入数の増加により、市の認知度が向上する。		
指標			R4	R5	R6	R7	R8(見込)	目標値
	活動指標ア	LINEのセグメント配信数	110	397	480	650	630	630
	活動指標イ	Instagramの投稿数	162	195	162	178	170	170
	成果指標ア	LINEの友だち登録者数(ブロック者除く)	2,975	4,459	5,937	7,004	8,000	10,000
	成果指標イ	Instagramのフォロワー数	7,323	8,336	9,612	11,411	20,000	25,000
費用 (千円)	一般財源・基金等市の実質負担額		3,204	3,028	3,028	4,619	2,719	
	その他(補助金・地方債等)		616	0	0	0	0	
	歳出額(総額)		3,820	3,028	3,028	4,619	2,719	
課題等	スマートフォンなどの普及により、広報紙以外で市の情報を知るためのツールが、パソコンからスマートフォンやタブレットPCなどへ変化しているため、広報紙を読まない人でも、市から発信するさまざまな情報を、市民の需要に合わせて手軽に入手できるように、特性の異なる媒体を有効に活用し、広報活動の効果を高める必要がある。							
令和8年度方針	ホームページは、広報紙と並ぶ主要な情報発信ツールであることから、多岐に渡る行政情報を探しやすく構成することが重要であるため、今後も情報の整理を随時行うとともに、定期的な研修を通じて分かりやすい記事を作成する意識づくりの浸透に努める。 SNSについてはさまざまな種類があり、世代によって利用するSNSにばらつきがあることから、常に動向を注視し各ツールの特性を生かして効果的な情報発信をするとともに、アカウントの乱立を避け、利用率の低いSNSを放置しないよう研究を進める。							